

2015年7月9日

全日本バレーボール高等学校選手権大会予選会における
「給水のためのテクニカルタイムアウト」について

東京都高等学校体育連盟バレーボール男子専門部

この大会は8月下旬と9月中旬という暑い時期に行われる大会のため、熱中症予防の観点からこの大会にかぎり下記の要領で「給水のためのテクニカルタイムアウト」を導入します。

1 各セットにおいて、リードするチームの得点が13点に達したとき、30秒間の「給水のためのテクニカルタイムアウト(以下、給水タイム)」が適用されます。その際、副審は吹笛をしプレイヤーに対しコートを退くよう促して計時をします。吹笛の際、ハンドシグナルは示しません。

第3セットにおいては、13点でコートチェンジをした後に給水タイムとなります。コートチェンジが完了した時点で副審が吹笛をし、計時を始めます。「コートチェンジの完了」は、「主審側を通過してコートチェンジをしたチームのプレイヤーがベンチ側のサイドラインを通過した時点」とします。

2 給水タイムは正規の中断(タイムアウト、選手交代)の要求やリベロの交替よりも優先されます。正規の中断やリベロの交替を行う場合は、給水タイムの後にその手続きをします。

3 給水タイムは給水及び汗拭きを目的としているので、給水タイム中は次の点に注意してください。

プレイヤー ウォームアップエリアにおいて給水することが出来ます。モップをかけるためにコートへ入ることは許されますが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとします。

チームスタッフ ベンチに着席してください。プレイヤーに対して戦術的な指示を出すことは出来ません。ただし、マネージャーが生徒の場合は給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められます。